

和紙のお雛さま

五十鈴川、夫婦岩、神話雛、七福神(雛の客)、百歳雛ほか

「母が『あなたは三月三日の朝に生まれた、特別な女の子だからね』と、嬉しそうに雛祭りの仕度をしていました。」

桃色のデンプや黄色の錦糸卵など、色どりの散らし寿司が並び、千代紙で作った紙雛が添えられていました。

今、私は和紙を素材とした人形創りをしています。その原点はこの思い出にあると感じています」



十五人段飾り



七福神(雛の客)



チヤイナ雛



春うらら



花地蔵



富貴花



花冠



神話雛

後期／令和7年 2月中頃～3月中頃予定

会場／おかげ横丁「大黒ホール」
10時～17時 入場無料

伊勢の和紙人形作家

阿部夫美子 遺作展

和紙夢現

「和紙の可能性を引き出し、無限の夢を現した人形たち...」
私の中では『人形信仰』のようでした」



「倭姫命」阿部夫美子作

【阿部夫美子作品集】

『和紙夢幻』平成17年 夫美の会



『紙神』平成28年(株)マスターワークス



『日本神話の世界』(平成28年)サラ企画



『和紙夢現』(令和2年)阿部夫美子



伊勢内宮前

おかげ横丁



展示の内容

【前期】

いにしへの神々／天照大御神、月読命、猿田彦命、倭姫命等の女性像として作る仏さま、普賢菩薩、救世観音菩薩、弥勒尊、荒木田守武、松尾芭蕉、慶光院清順上人ほか、伊勢で栄えた古市歌舞伎、伊勢音頭恋寝刃、勅進帳ほか、イロマンの香り／白いドレス、セラレーテ、タン「ほか

【後期】

和紙のお雛さま／五十鈴川、夫婦岩、神話雛、七福神(雛の客)、百歳雛ほか
阿部夫美子(あべふみこ) 伊勢市生まれ、昭和50年(1975)、中西京子氏に師事し、創作を開始。おかげ横丁「神話の館」に「倭姫命」を制作。そのほか「遷御の儀」(皇學館大学神道博物館)、「おかげ参り」(二見賀日館、斎王群行(鳥羽市・戸田家)などのシオラマ作品を制作。以降、日本の神々、伊勢ゆかりの歴史や文化にちなんだ作品などを積極的に創作、発表する。令和6年4月没。



前期／令和6年 11月30日～12月15日 会場／おかげ横丁「旧おかげ座」
10時～17時 入場無料



主催 / (株)伊勢福 協力 / NPO法人 五十鈴塾、阿部暖、阿部沢哉、(有)伊勢文化舎
後援 / 伊勢市、伊勢市教育委員会
お問い合わせ / おかげ横丁総合案内 (おみやげや) 電話 0596-23-8838

発行 / 令和6年11月15日
制作・発行 / (株)伊勢福 おかげ横丁 制作協力 / 阿部暖、阿部沢哉、NPO法人 五十鈴塾、(有)伊勢文化舎
お問い合わせ / おかげ横丁総合案内 電話0596-23-8838

いにしえの神々

天照大御神、天照大御神(荒御魂)、月読命、猿田彦命、倭姫命、倭健命、大国主命・小名彦名命ほか

「自分のために人形をつくるのが私のスタイルであり、そのおかげで創作はとても自由です。
ストレスも苦勞もなく、心を解放させてくれる至福の時間となっています。
日々穏やかに過ごすことができるのは、この人形作りが私の心の根源にあるからだと感じています」



天照大御神



倭健命



天照大御神(荒御魂)



大国主命・少彦名命



猿田彦命



月読命

女性像として作る仏さま 普賢菩薩、救世観音菩薩、弥勒菩薩ほか
いにしえから伊勢に刻は流れる 卑弥呼、松尾芭蕉、慶光院清順上人ほか
伊勢で栄えた古市歌舞伎 伊勢音頭恋寝刃、勧進帳ほか
ロマンの香り 白いドレス、セレナーデ、タンゴほか

「私が三十二、三歳のころ、夢を見たことをきっかけに多くの本を読み、その時、初めて「輪廻転生」という言葉を知りました。
生きる意味について考えるきっかけになり、比較的若い時に『死生観』を持つことができたのは、幸せなことだったと思っています」



勧進帳



普賢菩薩



慶光院清順上人



弥勒菩薩



伊勢音頭恋寝刃



ジオラマ 宇治橋渡始式



松尾芭蕉



西行法師



救世観音菩薩



卑弥呼



白いドレス



セレナーデ



タンゴ

「めぐりあわせの不思議に手を合わせよう」
坂村真民の詩で私が好きな言葉です。